

## 記事の訂正について

紙面にて配布させていただきました「かわにし市議会だより 204号」第9面の記事を以下のとおり訂正いたします。

なお、ホームページに掲載しております記事は、訂正後のものとなっております。

第9面上から2段目の後ろから11行目

「放置自転車撤去台数」

「放置台数」



市花りんどう

# かわにし

## 市議会だより

No. 204

平成27年  
2015年  
12月

<http://www.city.kawanishi.hyogo.jp/gikai/>

川西市議会

検索



第44回全国消防救助技術大会はしご登はん種目出場 南消防署芳田直樹隊員  
30m級はしご付消防自動車(撮影:南消防署)

## 9月定例会+決算特集号

もくじ

各会計決算やキセラ川西関連議案など審議... 2

### 常任委員会報告

総務生活常任委員会 ..... 3

厚生常任委員会 ..... 4

建設文教公企常任委員会 ..... 5

審議結果等一覧・賛否の状況 ..... 6

### 決算委員会報告

一般会計 ..... 8

特別会計 ..... 10

公営企業会計 ..... 11

一般質問 ..... 12



# 各会計決算やキセラ川西関連議案など審議 安全保障関連法案の慎重審議を求め意見書提出

平成27年第4回定例市議会は、去る8月27日に招集され、9月25日に30日間の会期を終えました。この定例会では、市が整備を進めているキセラ川西において、想定以上の量のレンガや粘土等が出土するなどしたため、工事費用の増額や、契約変更の議案が市長から提案されました。

また、同じくキセラ川西内で、低炭素型複合施設を整備するためのPFI事業契約案も提案されており、この議案に対しては、契約延期を求める請願書が市民から提出されていました。

いずれの議案も、審査を付託された委員会で事業の必要性や進め方を市にいただいた上、本会議最終日に可決しています。

さらに、本会議第5日には、安全保障関連法案の慎重審議を求める内容の意見書を2件可決し、直ちに国へ向けて発送しました。

第5回臨時市議会で認定しました。いずれも特別委員会が税金の使途や事業の効果について活発に議論を交わし、慎重に審議しています。

決算状況は、一般会計と特別会計を合わせた実質収支額が11億1474万3246円となり、黒字額は前年度より3億9163万1658円増加しています。

公営企業会計では、病院事業において資金不足比率が財政健全化法の基準を上回ったため、今後は経営健全化計画を策定し、改善に向けて取り組むこととなります。

26年度は多くの会計で黒字となっているものの、基金(貯金)や市債(借金)などの状況、及び少子高齢化への対応をはじめとする多くの課題を考慮すると、本市財政は、今後も決して楽観できません。

しかし市は、行財政改革に引き続き取り組むとともに、25年度にスタートした第5次総合計画に基づく事業や、「あんばい ええまち かわにし」として市の魅力創造・発信を意欲的に展開しており、これらの努力や創意工夫が大きく実を結ぶことを期待するものです。

## 第5回 臨時市議会

第5回臨時市議会が、10月26日・27日の2日間の会期で開催されました。第4回定例市議会に提出され、継続審査となりました平成26年度川西市一般会計及び特別会計決算認定案件の審議のほか、正副議長の選挙をはじめ、議会運営委員会委員や常任・特別委員会委員の選任など、議会の構成に関する案件が審議されました(第7面参照)。

議員が、市民の皆様へ年賀状(答礼のための自筆のものを除く)を出すことは、公職選挙法で禁止されています。  
公正な政治活動をするため、皆様のご理解をお願いいたします。

## 議会の活動状況

<b>8月</b> 20日○議会運営委員会 21日○建設文教公企常任委員協議会 ○まちづくり調査特別委員会 27日○第4回市議会定例会(招集日) ○議会運営委員会		8日○総務生活常任委員会 ○総務生活常任委員協議会 9日○厚生常任委員会 ○厚生常任委員協議会 10日○建設文教公企常任委員会 11日○公営企業会計決算審査特別委員会 15日○議会運営委員会 17日○第4回市議会定例会(第5日) ○議会運営委員会 25日○第4回市議会定例会(第6日)		○一般会計決算審査特別委員会 ○特別会計決算審査特別委員会 ○建設文教公企常任委員会 30日○一般会計決算審査特別委員会 <b>10月</b> 1日○一般会計決算審査特別委員会 2日○一般会計決算審査特別委員会 5日○特別会計決算審査特別委員会 6日○特別会計決算審査特別委員会 19日○議会運営委員会		26日○第5回市議会臨時会(招集日) ○議員協議会 ○議会運営委員会 27日○第5回市議会臨時会(最終日) ○議員協議会 ○議会運営委員会 <b>11月</b> 20日○議会運営委員会 25日○広報委員会	
--	--	---	--	--	--	--	--

## 常任委員会報告

### 総務生活常任委員会

**委員** (委員長) 〇 副委員長 〇  
〇秋田 修一 〇大崎 淳正  
住田由之輔 吉富 幸夫 加藤 仁哉  
安田 忠司 多久和桂子 上田 弘文

**川西市低炭素型複合施設整備に伴うPFI事業に係る契約の締結について**

本案は、川西市低炭素型複合施設整備に伴うPFI事業を施行するに当たり、契約の締結をしようとするものである。

**質問** 契約金額98億2173万6176円のうち、施設整備費は、当初の見込みよりも大幅に増額した経過がある。

**市は、災害や物価上昇に伴う人件費及び資材の高騰を主な要因としているが、結果的に金額を見直すこととした経緯について伺いたい。**

**答弁** 契約締結に向け各PFI事業参加事業者と個別に事前協議を実施しており、その内容と、市の独自調査により金額を見直したものである。

**質問** 当該施設はキセラ川西整備事業区域内にあるが、先般、この区域内では、土壌汚染や地中構造物への対策に伴う経費が改めて必要となる事案が発生している。

**そこで、この施設においても、同様の可能性はないか伺いたい。**

**答弁** 土壌汚染及び地中構造物が発見される可能性はいずれも低いと考えており、事前調査を行うと別途費用を要することから、最終的な確認は、今後実施する基礎工事で掘削する段階で確認したい。

万一、これらの対策を要する場合は、新年度予算に計上する予定であり、金額は先般の事案を参考に精査したい。

**反対意見** 契約金額があまりにも高額である上、PFI手法による整備方針にも疑問が残る。市の財政も厳しいことから、より慎重に再検討し、その過程で改めて市民の理解を得るべきであるため、賛成できない。

**反対意見** 市では、すでに過去の事業による将来への財政負担がかさんでおり、本契約によりさらに増やすべきではない。長年の懸案でもあり、

特に必要性の高い福祉関連施設に限定、縮小して整備し、文化会館は既存施設を継続して使用すべきであると考えることから、賛成できない。

**賛成意見** 施設の老朽化に伴い早急な耐震化対策が必要である上、施設の耐久年数を60年程度と想定すると、契約金額が高額過ぎるとまでは言えないため、本案に賛成する。

**賛成意見** 本事業における施設等の配置のあり方や集客方法など運営面において課題はあるが、市民のために、にぎわいのあるまちの創造に尽力されんことを要望し、賛成する。



キセラ川西内複合施設イメージ

**川西市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について**

本案は、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用

等に関する法律」、いわゆるマイナンバー法の制定に伴い、同法で規定する「特定個人情報」に係る規定の整備を行うとするものである。

**質問** 今回の改正により、マイナンバー情報のやりとりを記録する「情報提供等記録」が規定されるが、コンビニエンスストアでの証明書取得が可能となることから、民間事業者とのやり取りがどのように記録されるのか伺いたい。

**答弁** コンビニにおける証明書発行は、多機能端末機(マルチコピー機)から要求があった証明書を市がデータ作成して送信するというイメージであり、情報の元データは市にあるものと変わらない。

また、情報提供等記録、つまり実際の操作記録も全て市の方に残る形となっている。

**反対意見** マイナンバー制度は、情報漏えいが懸念されるため、マイナンバー法そのものに反対であることから、賛成できない。

**賛成意見** これまでよりもさらに厳格に本条例を運用することを要望し、賛成する。

**川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について**  
本案は、平成28年4月からコンビニにおいて「個人番号カード」を利用し、住民票の写し等の証明書の



## 厚生常任委員会

交付を開始する予定であることに先立ち、交付手数料を規定するなど、条例の一部を改正しようとするものである。

**質問** 条例案では、「コンビニにおける証明書交付手数料が1件150円と設定されており、市役所等の窓口で取得するよりも安くなっている。」

このように設定した経緯や、根拠について伺いたい。

**答弁** 手数料は、事業に係るコストに対して一定額を利用者に負担してもらうものであるが、コンビニでの証明書交付は、概算すると1件当たり約200円と試算している。

導入経費はかかるものの、コンビニでは人を介さず機械上で発行され、人件費がかからないため、必要経費はいずれ下がることが見込まれる上、個人番号カードの普及による市民の利便性向上につながっていく思いから、最終的には1件150円という設定にしたものである。

**反対意見** コンビニを利用した公的証明書の発行は、個人情報漏えいが危惧される上、同一の証明書にもかかわらずコンビニと窓口で手数料に差異を設けることは、公平性の観点から問題があるため反対する。

## 委員（委員長〓 副委員長〓）

〓岡 留美 〓福西 勝 宮坂満貴子  
西山 博大 黒田 美智 米澤 拓哉  
平岡 譲 江見 輝男 坂口 美佳

## 平成27年度川西市一般会計補正予算（第2回）〈分割付託〉

**質問** 本補正では、市のごみ収集車にデジタルタコグラフを取り付けるための費用として、リース代金を含む122万4千円が計上されているが、同機器の導入に至った経緯や、装着台数について伺いたい。

**答弁** 以前より市民から、ごみ収集車の運行に対しては、運転が荒い、音がうるさいといった苦情が寄せられており、市として、教習所での安全運転研修、職場内での安全衛生委員会や、班長会議における事例研究を通して安全運転に関する意識や技能の向上を図ってきた。

苦情件数や事故件数は以前より減少しているが、依然として交通事故等が発生しているため、かねてからの課題である安全運転管理の強化策の一つとして当該機器を導入するものである。

市が保有するごみ収集車、パッカー車21台、ダンプ車15台の計36台

に装着する予定である。

**質問** 今回のデジタルタコグラフ導入は、市の収集車のみを対象としており、民間委託している車両は入っていないが、同様の措置を求めることはしないのか。

**答弁** 燃やすごみの委託業者2社のうち、1社は既に導入済みである。

市と委託業者間で実施している情報交換会において、もう1社にも同機器のメリットをご理解いただき、自主的に取り組んでいただけるよう、呼び掛けたい。

**質問** 「ゴミ収集車に対する市民からの声に対して、市はその都度部署内で情報共有し、迅速に対応していると思うが、それらを客観的に資料として残り、信ぴょう性を確保することも、安全管理の上では重要であると思われる。」

具体的にどのように情報として整理されているのか伺いたい。

**答弁** 市民からの意見や、これに対処した結果といった内容は、記録として残しているものの、日々多くの意見が寄せられ、内容も広範囲に及んでいることから、件数や類型といった、データとしての把握はしていない。

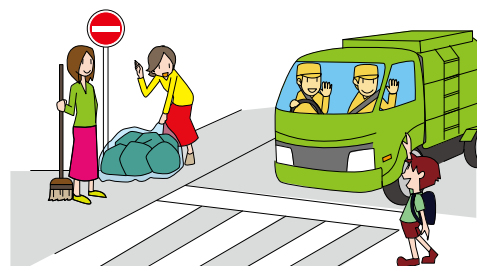
今後は記録を集計し、把握するよう努めたい。

**質問** 安全運転管理や指導は、本来、費用をかけなくとも徹底すべきことであり、あえて予算を組んで取り組むからには、結果が求められる。

5年間のリース期間内に速やかに改善結果が得られるような、デジタルタコグラフの活用方策などを伺いたい。

**答弁** タコグラフは法律で一部の大型車等に装着が義務付けられており、一般的にアナログ式は、時間・距離・速度といった法定3要素を記録するものであるが、今般のデジタル式は、以上のほかに、エンジンの回転数の変化や急加速・急減速・急旋回、GPSによる位置情報などを数値化してデータ管理できる機能があり、運転者の特性を把握できる。

日々の指導に加え、これらの情報を利用して、個々の運転特性を把握した上で具体的な安全運転管理策を講じ、5年間で十分な成果を出せるよう取り組みたい。



## 建設文教公企常任委員会

### 委員（委員長〓 副委員長〓）

〓鈴木 光義 〓北野 紀子 北上 哲仁  
森本 猛史 斯波 康晴 津田加代子  
大矢根秀明 小山 敏明 久保 義孝

## 平成27年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1回）

**質問** 本補正では、キセラ川西整備事業区域内における土壌汚染対策や不良土処分、及び地中構造物の撤去に係る費用等として5億1140万円を追加しようとしているが、これは、平成22年の土壌汚染対策法改正に起因することである。

今回の増額に至るまでの経緯について伺いたい。

**答弁** 改正法により、3千平方メートルを超える土地の形質変更時に、土壌汚染の恐れがあると県が認めた場合、市は当該土地の調査義務を負い、必要に応じて土壌汚染対策を講じることとなったが、工事範囲の取り扱いについては具体的な規定がなかったため、市では、過去の皮革工場転廃業事業に準じて、これを敷地単位と解釈していた。

その後、改めて県と協議を重ねたところ、平成26年度に県が対象範



キセラ川西内整地工事（6-1 工区）

### 付帯決議〈要旨〉

本補正予算は、市財政に大きな影響を及ぼす上、全体事業予算が今後どれほど積み上がるのか不透明であるため、事業継続に不安を感じるものである。

今後の財政運営は、慎重かつ大胆な計画の見直しなど、強い危機感を持って臨むよう、当委員会は、次のとおり要望する。

- 1 事業予算の算定には、十分な調査と検討を行い、精度の高い当初予算を計上すること。
- 2 事業に関連する法令・情報等は、関係機関との連携を深めて情報収集し、遺漏のないよう努めること。

## キセラ川西整備事業に伴う整地工事（第6-1工区）請負契約の変更について

本案は、さきの補正予算の可決を受け、平成27年1月28日に締結した工事請負契約の契約金額を、1億4552万280円から2億7135万8640円に変更するとともに、工期末を平成27年9月30日から平成28年1月29日に変更しようとするものである。

**質問** 変更金額のうち、粘土の処分費が8722万2千円と最大の増額要因となっているものの、地盤によつてはそのまま残すことも可能であると聞くことから、今後において、処分費が減額される可能性について伺いたい。

**答弁** 実際に現場で精査を行った結果、地耐力に問題がないものは残すことになるため、その分の工事は減額することになる。

**質問** 付帯工事費としてレンガの仮置き場設置費用として279万円が計上されているが、仮置きに要する費用としては高額に感じられる。

算定根拠と、仮置き期間短縮による節減の可能性について伺いたい。

**答弁** 高さ3メートルの万能堀という工事用フェンス250メートル分を設置費用として計上している。

また、この堀は買い取りのため、期間短縮による費用の減額効果はない。

**反対意見** さきに可決された補正予算案には反対を表明したところであり、本案はその関連議案である。

また、地中構造物等の出土は事前にある程度想定すべきであり、リスク管理の甘さは否定できない上、今回のように拙速に議決を求められる市の進め方には納得できないことから、本案に反対する。



第5回川西市議会（臨時会）※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
認定第6号	平成26年度川西市一般会計決算認定について	平成26年度川西市一般会計決算を認定する	認定 (賛成多数)	一 般 会 計 決 算 特 委
認定第7号	平成26年度川西市国民健康保険事業特別会計決算認定について	平成26年度川西市国民健康保険事業特別会計決算を認定する	〃	特 別 会 計 決 算 特 委
認定第8号	平成26年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	平成26年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算を認定する	〃	〃
認定第9号	平成26年度川西市農業共済事業特別会計決算認定について	平成26年度川西市農業共済事業特別会計決算を認定する	認定 (全員賛成)	〃
認定第10号	平成26年度川西市介護保険事業特別会計決算認定について	平成26年度川西市介護保険事業特別会計決算を認定する	認定 (賛成多数)	〃
認定第11号	平成26年度川西市用地先行取得事業特別会計決算認定について	平成26年度川西市用地先行取得事業特別会計決算を認定する	認定 (全員賛成)	〃
認定第12号	平成26年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算認定について	平成26年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算を認定する	認定 (賛成多数)	〃
選挙第3号	議長の選挙について	議長の辞職に伴い、新しい議長を選出する	選挙 (投 票)	－
選挙第4号	副議長の選挙について	副議長の辞職に伴い、新しい副議長を選出する	〃	－
同意案第5号	監査委員の選任について	監査委員の辞職に伴い、鈴木光義氏を選任する	原案同意 (全員賛成)	－
選任報告第1号	議会運営委員会委員の選任について	任期満了に伴い、新しい議会運営委員会委員を選任する	報告	－
選任報告第2号	常任委員会委員の選任について	任期満了に伴い、新しい常任委員会委員を選任する	〃	－
選任報告第3号	特別委員会委員の選任について	任期満了に伴い、新しい特別委員会委員を選任する	〃	－
推薦第2号	川西市農業委員会委員の推薦について	選任委員の欠員に伴い、新しい川西市農業委員会委員として、平岡謙氏・小山敏明氏を推薦する	推薦	－
選挙第5号	猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員の選挙について	組合議会議員の欠員に伴い、新しい猪名川上流広域ごみ処理施設組合議会議員を選出する	選挙 (指名推選)	－

賛否の状況

※賛否が分かれたもののみ掲載    賛成：○   反対：×   欠席：－

交渉団体名		公明党					川西まほろば会					明日のかわにし					日本共産党 議員団			連合市民クラブ			自治市民 クラブ		維新の党 川西		無所属	
議員名		大矢根 秀明	鈴木 光義	大崎 淳正	平岡 謙	江見 輝男	秋田 修一	森本 猛史	加藤 仁哉	西山 博大	久保 義孝	多久和 桂子	米澤 拓哉	斯波 康晴	福西 勝	小山 敏明	黒田 美智	住田 由之輔	北野 紀子	津田 加代子	岡 留美	安田 忠司	北上 哲仁	宮坂 満貴子	上田 弘文	坂口 美佳	吉富 幸夫	
議案名	議案第56号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	議案第60号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	議案第62号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	議案第63号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第67号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	意見書案第3号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
	意見書案第4号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	
第4回定例会	議案第56号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×
	議案第60号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	議案第62号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○
	議案第63号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第66号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第5回臨時会	認定第6号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※地方自治法の規定により、小山敏明議長は議員として議決に加わる権利を有していません。(ただし、可否同数のときは議長の決するところによる)

審議結果等一覧

第4回川西市議会（定例会）※網掛けされた議案は賛否が分かれたものを示す

議案番号	議案名	内 容	審議結果等	付託委員会
同意案第4号	教育委員会委員の選任について	教育委員会委員の任期満了に伴い、加藤隆一郎氏を選任する	原案同意 (全員賛成)	－
諮問第5号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員の任期満了に伴い、西垣通豊氏を推薦する	〃	－
諮問第6号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員の任期満了に伴い、西佳子氏を推薦する	〃	－
諮問第7号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員の任期満了に伴い、乾和雄氏を推薦する	〃	－
諮問第8号	人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員の任期満了に伴い、佐師孝敬氏を推薦する	〃	－
認定第3号	平成26年度川西市水道事業会計資本剰余金及び利益の処分並びに決算認定について	平成26年度川西市水道事業会計利益の処分を可決し、決算を認定する	原案可決 及び認定 (全員賛成)	公営企業会計 決 算 特 委
認定第4号	平成26年度川西市下水道事業会計資本剰余金及び利益の処分並びに決算認定について	平成26年度川西市下水道事業会計利益の処分を可決し、決算を認定する	〃	〃
認定第5号	平成26年度川西市病院事業会計決算認定について	平成26年度川西市病院事業会計決算を認定する	認定 (全員賛成)	〃
議案第56号	川西市低炭素型複合施設整備に伴うPFI事業に係る契約の締結について	川西市低炭素型複合施設整備に伴うPFI事業を施行するため契約金額を98億2173万6176円で締結する	原案可決 (賛成多数)	総 務 生 活
請願第6号	中央北地区開発における複合施設のPFI契約延期を求める請願	「低炭素型複合施設のPFI事業契約」について、契約を延期し、市民への十分な説明と意見を反映した見直しを求める	不採択	〃
議案第57号	高規格救急自動車の買入れについて	高規格救急自動車を3207万6000円で買入れる	原案可決 (全員賛成)	〃
議案第58号	川西市病院事業の個別外部監査契約に基づく監査をすることについて	監査委員の監査に代えて個別外部監査契約に基づく監査をする	〃	建設文教公企
議案第59号	川西市病院事業の個別外部監査契約の締結について	個別外部監査契約を公認会計士の西 育良氏と締結する	〃	〃
議案第60号	川西市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の制定に伴い、条例の一部を改正する	原案可決 (賛成多数)	総 務 生 活
議案第61号	川西市職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	被用者年金制度の一元化等を図るための厚生年金保険法等の一部を改正する法律の制定に伴い、条例の一部を改正する	原案可決 (全員賛成)	〃
議案第62号	川西市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に規定する通知カードの再交付の手数料、個人番号カードの再交付の手数料及びコンビニエンスストアにおける証明書等の交付を開始することに伴う手数料を定めるため、条例の一部を改正する	原案可決 (賛成多数)	〃
議案第63号	平成27年度川西市一般会計補正予算(第2回)	歳入歳出予算の総額に2億5398万4000円を追加、補正後の歳入歳出予算の総額は554億8032万2000円	〃	総 務 生 活 厚 生 建設文教公企
議案第64号	平成27年度川西市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1回)	歳入歳出予算の総額に1億7676万6000円を追加、補正後の歳入歳出予算の総額は200億4053万4000円	原案可決 (全員賛成)	厚 生
議案第65号	平成27年度川西市介護保険事業特別会計補正予算(第2回)	歳入歳出予算の総額に1838万1000円を追加、補正後の歳入歳出予算の総額は117億1056万8000円	〃	〃
議案第66号	平成27年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計補正予算(第1回)	歳入歳出予算の総額に5億1140万円を追加、補正後の歳入歳出予算の総額は44億9443万2000円	原案可決 (賛成多数)	建設文教公企
議案第67号	キセウ川西整備事業に伴う整地工事(第6－1工区)請負契約の変更について	契約金額を1億4452万280円から2億7135万8640円に、工期の終期を平成27年9月30日から平成28年1月29日に変更	〃	〃
報告第9号	平成26年度川西市一般会計予算継続費精算報告について	文化振興事業、市民体育館建替事業、環境創造事業、公共交通支援事業	報告	－
認定第6号	平成26年度川西市一般会計決算認定について	平成26年度川西市一般会計決算を閉会中の継続審査とする	継続審査 (全員賛成)	一 般 会 計 決 算 特 委
認定第7号	平成26年度川西市国民健康保険事業特別会計決算認定について	平成26年度川西市国民健康保険事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	〃	特 別 会 計 決 算 特 委
認定第8号	平成26年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算認定について	平成26年度川西市後期高齢者医療事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	〃	〃
認定第9号	平成26年度川西市農業共済事業特別会計決算認定について	平成26年度川西市農業共済事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	〃	〃
認定第10号	平成26年度川西市介護保険事業特別会計決算認定について	平成26年度川西市介護保険事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	〃	〃
認定第11号	平成26年度川西市用地先行取得事業特別会計決算認定について	平成26年度川西市用地先行取得事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	〃	〃
認定第12号	平成26年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算認定について	平成26年度川西市中央北地区土地区画整理事業特別会計決算を閉会中の継続審査とする	〃	〃
意見書案第3号	安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書	「安全保障関連法案」の国会での慎重審議を、国に要望することを求める	原案可決 (賛成多数)	－
請願第7号	「安全保障関連法案」の国会での慎重審議を国に求める請願書	〃	採択	総 務 生 活
意見書案第4号	子どもの未来のために安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書	「安全保障関連法案」の慎重な審議を国に要望することを求める	原案可決 (賛成多数)	－
請願第8号	安全保障関連法案の慎重審議を国に求める請願書	〃	採択	総 務 生 活



# 決算委員会報告

## ◆一般会計決算審査特別委員会

◎大矢根秀明 ○西山 博大  
大崎 淳正 北上 哲仁 吉富 幸夫  
秋田 修一 黒田 美智 斯波 康晴  
福西 勝 津田加代子 江見 輝男  
小山 敏明 坂口 美佳

## ◆特別会計及び公営企業会計決算審査特別委員会

◎岡 留美 ○宮坂満貴子  
鈴木 光義 住田由之輔 森本 猛史  
加藤 仁哉 北野 紀子 米澤 拓哉  
平岡 譲 安田 忠司 多久和桂子  
上田 弘文 久保 義孝

※ ◎：委員長、○：副委員長

## 一般会計（歳入）

**質問** 26年度における個人市民税は、均等割が500円増額され、3583万7500円の影響額があったものの、収入済額は前年度と比較して6772万6028円減の90億5690万2517円となった。

そこで、これに対する市の分析や、働く世代の納税者人口減少に歯止めをかける方策について伺いたい。

**答弁** 26年度は、均等割は増えたものの、給与所得者の多くが退職等により、年金受給へ移行され所得が減少したことが要因と考えている。

**答弁** 歳入の根幹となる市税収入を得るため、とりわけ納税義務者の本市への流入は、今後の市の活性化に不可欠であると位置づけており、人口増加策に今後も尽力したい。

**質問** 26年度における固定資産税の現年課税分及び滞納繰越分の収入未済額124万7404円

だが、現在の施設はワンフロアであり、移動距離が短縮されるなど使いやすくなっている。

また、さくら園の待機児童は現在7名であるが、来年4月までに解消できる見通しである。



さくら園(小戸3丁目)／ひまわり荘(湯山台2丁目)

**質問** 市では、25・26年度の2年間で、本市の自然と文化を次世代に引き継ぎ、持続的に利用するため、「生物多様性ふるさと川西戦略」を策定したが、市民への周知を含め、計画遂行における今後の展望について伺いたい。

**答弁** 戦略を絵に描いた餅にせず、実効性のあるものにしなければならぬと考えており、まずは、「生物多様性」という言葉への理解が得られるよう啓発活動を行う。

また、自然の変化は緩やかであり、長期的に見つめていく必要があることから、専門家等からなる推進委員会を設置し、持続的な監視及び評価

のうち、9億5911万9千円が舎羅林山開発地域に係る滞納額となっていることから、滞納処分に係る市の取り組みについて伺いたい。

**答弁** 現在、市は旧所有者の所有地43筆を差し押さえしているが、これにより、旧所有者はこの土地を売り、また、担保に入れお金を借りるといった行為が禁止されている。

また、抵当権の設定がない土地については、市は処分できる権利を有するため、選択肢としては、インターネット公売を活用する方向で考えている。



舎羅林山(写真中央部)

**質問** 26年度からアステ市民プラザを開設し、戸籍謄抄本などの

の体制を構築するほか、市では、各部署で担当者を決め、計画推進に携わっていく。

最終的には本市の多様で豊かな自然と市民が共生していけるように、持続可能な施策を展開していきたい。

**質問** 市では、川西能勢口駅周辺の放置自転車対策として、26年度中に有料の駐輪設備を整備している。

この設置状況及び効果について伺いたい。

**答弁** 設置状況は、パルティK2・阪急かわにしイースト駐車場・川西能勢口北自転車駐車場・コインズ川西池田・コインズ川西池田第2の計5カ所において、合計857台分を整備した。

**答弁** 自転車と原付を合わせた、駐輪機設置後の川西能勢口駅周辺の放置台数は、平成24年度756台から、25年度が206台、26年度には28台と推移しており、24年度と比較すると約30分の1に減少している。川西能勢口駅周辺の駐輪機整備は、ほぼ完了したと考えており、今後は啓発活動に注力したい。

**質問** 駐輪機設置による放置自転車対策は成果を挙げているが、対策事業費の総額としては4795万5302円が執行されている。

証明書等交付手数料93万5100円が収納されているが、当初は150万円と見込んでいたことから、金額が減少した要因について伺いたい。

**答弁** 証明書の発行件数は5千件と想定していたが、無料交付分55件を含め、3172件にとどまっ

## 一般会計（歳出）

**質問** 2308万2千円が支出されている親元近居助成金について、利用者へのアンケートによると、市内転居が多いとのことである。

そこで、本制度の効果について、市の評価を伺いたい。

**答弁** 本制度は平成25年度からスタートし、利用者は年々増加している。本市にとつて人口の確保は重要な要素であると認識しており、市内転居でも人口流出抑制につながっているほか、自治会への加入促進も併せて行い、地縁力の向上にも寄与していることから、十分に成

今後は、この削減を視野に、放置自転車への抜本的な対策を検討する考えはないか。

**答弁** 現在は、対策の一つとして、業務委託により川西能勢口駅周辺に指導員や監視員といった人員を配置している。

今後、放置自転車がない状況が定着すれば、配置を見直すことにより経費を削減することは可能であるが、直ちに廃止することは難しい。

**質問** 南消防署久代出張所の建て替え工事費として2959万2千円、新庁舎の建設工事費として9275万400円がそれぞれ支出されている。

**答弁** 移転後の出勤時における、近隣住民への影響について伺いたい。

従来よりも少し南に移転したが、これまでどおり、地域の方々からは気軽に声をかけていただいており、建物や音に対する苦情は受けていない。

移転先では出動灯を設置し安全に配慮するほか、特に夜間の出動は、サイレン音量を最初は下げて吹鳴させるなどの取り組みも行っており、問題なく出動できている。

**反対意見** 「参画と協働のまちづくり」を掲げる本市として、「子ども

た。

これは、開設当初の認知度が低かったためであるが、月当たりの発行件数は開設当初8月の250件から、27年3月には533件へと増加しており、認知度は徐々に向上してきている。

果はあると考えている。

**質問** 児童発達支援センター「川西さくら園」拡充のため、同じ建物内にあった在宅障害者デイサービス施設「ひまわり荘」が、湯山台デイサービスセンター跡地に移転したが、その後の状況について伺いたい。

**答弁** 今回の移転に伴い、ひまわり荘については、従前では外部からの弁当を提供していたが、調理施設を有する満寿荘が隣接しているため、温かい食事が提供できるようになったほか、以前は2階建てだった

子育て計画」等の策定における情報提供や説明責任のあり方に大いに疑問が残るとともに、理解し難いものがある。

また、この年度は、消費税率引き上げや、個人市民税均等割が500円加算されたことにより市民負担が増大した年であるとともに、定数管理計画を上回る勢いで市の職員が削減され、負担の増加とともに、職務に対するモチベーションが大幅に低下している実態があることから、本決算は認定できない。

**賛成意見** 黒字決算が果たされたとはいえず、市債残高が増加する一方で基金は減少するなど、財政運営は依然厳しい状況が続いており、健全化に向けては、より効率的かつ効果的な予算執行に努めるべきである。

他方、財政状況を示す一部の指標では好転するなど、回復の兆しも見えており、無駄を省きながら必要な施策は積極的に展開するとともに、市民と一体で参画と協働のまちづくりを実践し、住んで良かったと実感できるまちに向けて力強く前進するよう要望し、本決算を認定する。

【委員会審査の結果：認定】



国民健康保険事業

**質問** 26年度の国民健康保険税の収入未済額は21億9633万2324円に上っており、資力のある滞納者への徴収対策のほか、一方で、災害や経済的理由による減免制度の運用がなされていることから、これらの状況を伺いたい。

**答弁** 滞納金額が20万円以上で市外に転出した滞納者の案件は、債権回収課に移管しており、26年度は対象者146人のうち、121人から総額1220万円を収納した。

また、26年度の減免総額は約2千万円となっており、配偶者が後期高齢者医療に移行するなどした被扶養者への減免が約1400万円を占めるほか、所得の減少などによる減免が主な内訳である。

**反対意見** 26年度は、消費税率や賦課限度額の引き上げのほか、70歳から74歳の窓口負担割合が1割から2割に見直されるなど、市民負担が増大したため、本決算は認定できない。

【委員会の審査結果…認定】

後期高齢者医療事業

**質問** 26年度は後期高齢者医療保険料が、対前年度1億8684万8205円増の21億7383万8035円収納されていることから、この増額要因について伺いたい。

**答弁** この要因は、被保険者の増や、一人当たり平均1.1%の保険料率の改定によるものである。

**反対意見** 兵庫県後期高齢者医療広域連合は、多額の剰余金を保有しており、これらや基金を活用して保険料率の抑制や、加入者の負担軽減に尽力すべきであると考えるが、26年度は保険料が増額されているため、本決算を認定できない。

【委員会の審査結果…認定】

農業共済事業

**質問** 26年度は、農家数3戸に対し、2万3111円の水稲共済金が支払われているが、被害の状況について伺いたい。

**答弁** 被害の内訳は、鳥獣被害が2戸、干害が1戸である。

鳥獣被害のうち、1戸は鹿が防護

中央北地区土地区画  
整理事業

**質問** 第6-1工区については、平成27年1月28日の工期開始以降に、整地工事や土壌汚染対策工事に係る変更契約が複数回なされているが、平成22年の土壌汚染対策法改正との関連など詳細について伺いたい。

**答弁** 27年1月28日に当初の契約を行ったが、第6-1工区に関しては、これまで4回変更契約を締結した。

同工区内に仮置きしていた、他の工区から出土した粘土性の土砂についての再利用方法が決定したため、これらの移動並びに振るい分け作業等に伴う変更を行った。このほか、平成22年に土壌汚染対策法が改正され、3平方メートル以上の土地の形質変更時の届出及び土壌汚染調査が義務化されたものの、平成26年度に入り、対象面積が敷地単位から事業区域全体に取り扱いが見直され、26年度当初から行った調査の結果が明らかになったため、再度、変更契約を実施したものである。

**反対意見** 土壌汚染調査及び対策等に伴う契約変更や経費計上など、予算執行の過程に対して疑義があるため、本決算については認定できない。

【委員会の審査結果…認定】

公営企業会計

水道事業

**質問** 過年度分未収給水収益は前年度に比べ9.4%、不納欠損額は25.7%減少しているが、26年度中の滞納対策について伺いたい。

**答弁** 26年度は、給水停止など従来からの取り組みのほか、新たに、1期でも滞納となった新規滞納者を対象に、重点的に納付指導を行った。

また、不納欠損処理する前に内容を精査し、回収の可能性がある案件については、滞納者に完納確約書の提出を促し、積極的に時効の中断等を図った。

**賛成意見** 給水収益が減少傾向にある中、漏水が増加した点は残念だが、若手職員への技術の継承や鉛管改良、老朽管更新等に二層取り組み、今後更安全・安心な水道水を供給するよう要望し、本決算を認定する。

【委員会の審査結果…原案可決及び認定】

ネットにからまり、暴れ回ったことで稲を倒し、減収となった。

**賛成意見** 限られた品目に対する損害補償だけでなく、農業全般に制度拡充し、より農業振興が推進されるよう要望し、本決算を認定する。

【委員会の審査結果…認定】

介護保険事業

**質問** 26年度中の特別養護老人ホームの入所待機人数は797人であるが、この解消に向けた施設整備方針や、適正に入所の順番を判断するための指針について伺いたい。

**答弁** 本年7月に、100床ある特別養護老人ホームが西多田に開設したが、待機者解消の一助となると考えている。また、第6期介護保険事業計画に基づき、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護施設を1カ所整備するほか、サービス付き高齢者向け住宅を特定施設入居者生活介護に指定することにより、待機者の解消を図りたい。

特別養護老人ホームへの入所については、施設が市民から申し込みを受け付けた後、その方の身体状況や要介護度を調査した上で、県の入所コーディネートマニュアルに沿って必要性や緊急性を判断し、優先度が決められる。

下水道事業

**質問** 現在、前川雨水ポンプ場及び加茂雨水ポンプ場の長寿命化工事をそれぞれ実施しているが、具体的な内容について伺いたい。



前川雨水ポンプ場（栄根2丁目）

**答弁** 前川雨水ポンプ場については、平成25年度から5年間、加茂雨水ポンプ場については平成26年度から5年間で期間とした長寿命化計画を策定済みであり、この計画に基づき、機械を更新すべきものは新しくし、手を加えて長く使えるものについては、分解修理で対応している。

例えば両ポンプ場のエンジンは、これまで修理により耐用年数を大幅に超えて使用していたため、計画では

**反対意見** 26年度は消費税引き上げの影響のほか、国民健康保険税改定により、賦課限度額において介護納付金分が増額されたことから、本決算は認定できない。

【委員会の審査結果…認定】

用地先行取得事業

**質問** 本会計では、市債の活用により土地開発公社用地を買い戻すなど、26年度も継続して第3次経営健全化計画に取り組んでいる。

そこで、同公社が保有している土地の簿価総額の見直しや、存廃も含めた同公社の今後について伺いたい。

**答弁** 計画に基づき、29年度末まで同公社保有地の簿価総額が、標準財政規模に対して9.2%となるよう取り組んでおり、26年度は火打2丁目地内の土地開発公社用地を5億6695万2045円で買い戻している。

**答弁** 同公社は役割を終えており、将来的には収束を得たいが、計画期間満了後も、買い戻しに要した市債の償還を念頭に財政計画を立案する必要があるため、支援制度の継続を国等へ要望していきたい。

【委員会の審査結果…認定】

更新することとしている。

**賛成意見** 水洗化率のさらなる向上や老朽下水管の更新、雨水対策の推進を今後も図るよう要望し、本決算を認定する。

【委員会の審査結果…原案可決及び認定】

病院事業

**質問** 26年度末における資金不足比率が経営健全化基準を上回る25.8%となり、今後は経営健全化計画を策定し、改善に取り組むこととなるが、市はこの状況を年度末時点で把握しながら、貸し付けによる財政支援など、積極的な是正を行わなかった理由を伺いたい。

**答弁** 貸し付けにより基準内に収めるという手段も当然あったが、市本体の財政状況が非常に厳しいため、追加融資は困難であるとともに、厳しい措置ではあるが、再度職員一丸となって客観的な視点で健全化に取り組むことも重要であることから、やむなく判断したものである。

**賛成意見** 決算の数字としては大変厳しいが、その要因や改善への方策は明白であるため、悲観することなく、引き続き経営改善に尽力するよう要望し、本決算を認定する。

【委員会の審査結果…認定】